



【肩掛けポシェット】【小銭入れ】【貝の口小物入れ】

受け継がれた愛と技。使うほどに輝く遊佐町の手仕事。

事業者名: LLP遊佐刺子ギルド 代表: 土門 玲子 住所: 〒999-8301山形県飽海郡遊佐町遊佐字京田109-8

TEL: 0234-72-2238 ホームページ遊佐刺子: <http://www.comfort-design.net/itomaki/>

販売店○鳥海温泉 遊楽里 TEL: 0234-77-3711 電話での予約販売 ※お客様のご要望で写真以外の商品もお作りします。



遊佐刺し子は、日本三大刺し子の一つ庄内刺し子の原点です。

その昔、鳥海山から薪を下す作業に着用された「櫛曳き法被(そりひきはっぴ)」の肩当て、胸当てに刺し継がれた遊佐独特の幾何文様を縫い現す刺し子です。聞き取り調査では120種程度の文様があると言われていたのですが、平成23年11月の時点で、町内に現存する櫛曳き法被からは156種の刺し子文様が確認されています。

遊佐刺し子文様には、刺し手の祈りと願いが込められています。とりわけ「遊佐の米刺し、草刺し(五穀豊穡)」

「竹刺し(鳥海山の孟宗竹林)」「繭蛾刺し(養蚕)」などは他地域にはない文様です。

保温や補強のための刺し子と違い、遊佐刺し子は鳥海山の神への畏敬の念と日々の祈りを込めた櫛曳き法被にのみ刺しこまれた文様は美しさが際立っています。遊佐の女性が競い合って刺し繋いだ数々の多彩な模様を「用の美」として身近に溶け込めるグッズとして、様々な日用品に仕上がっています。

貝の口小物入れは両端をは



さみ込み押さえると開閉し、アクセサリや薬等小物の出し入れも楽々。また、肩掛ポシェットはブーツが入った事で見た目より多くの物が入り、バネ口仕様により、出し入れも安心。お出掛けのお供に使い勝手の良いポシェットとして人気があります。

